

議会だより



あやがわ



たきのみや ねんぶつおどり
ユネスコ無形文化遺産登録へ申請中の滝宮の念仏踊 (8月25日)

2022

NO. 66

令和4年10月21日
香川県綾川町

定例会・審議結果	2P~4P
令和3年度決算監査報告	5P
委員会報告	6~8P
一般質問	9~17P
傍聴記・「かがわ・山なみ芸術祭」のご案内	18P



綾川町議会ホームページ

9月定例会

保育支援システム用タブレット端末導入 事業に1484万5600円

条例の改正

●綾川町職員の育児休業等に関する条例

働きながら育児がしやすい職場環境整備を進めるため、育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加における休暇の対象期間の拡大等措置を講ずるための改正。

●綾川町過疎地域における町の特別措置条例

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」第24条の規定に基づく過疎地域の課税免除・不均一課税を定める条例中で引用されている租税特別措置法の一部が改正されたことに伴う改正。

物品売買契約の締結

●令和4年度綾川町保育支援システム用タブレット端末等導入事業

契約金額（消費税込）
1484万5600円

契約者
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーシヨンズ(株)
四国支社長 堀野 卓

納期

令和4年9月15日
～令和4年11月30日

●令和4年度綾川町消防団小型動力消防ポンプ付積載車更新事業

契約金額（消費税込）
1518万円

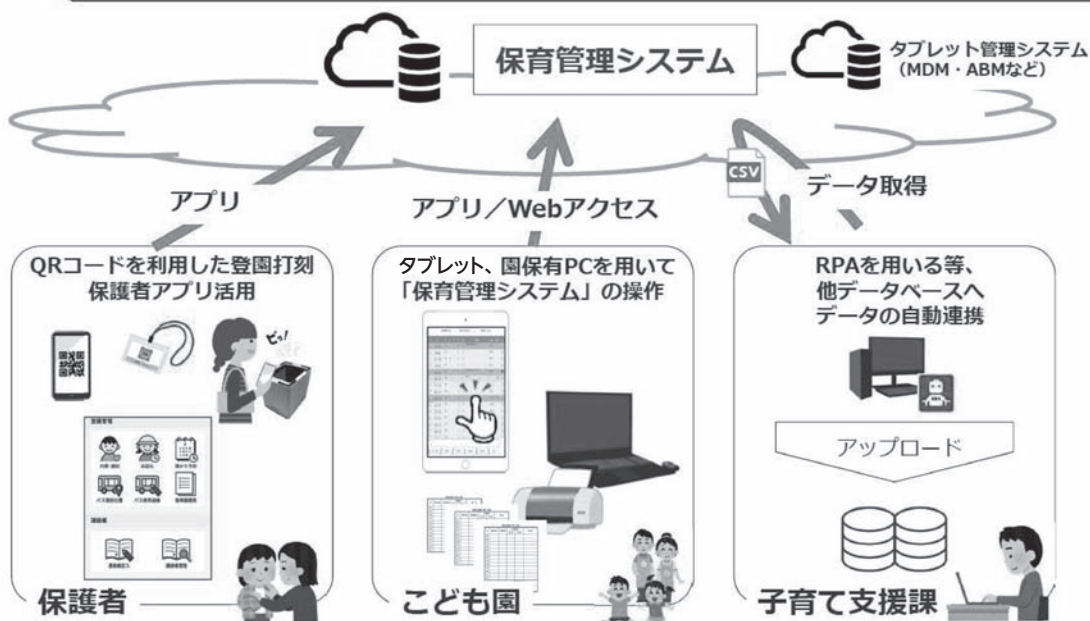
契約者

(株)福島商会
代表取締役 福島 桂子

納期

令和4年9月15日
～令和5年3月24日

保育支援システム「保育管理システム」全体図



導入予定の保育支援システム

決算審査特別委員会設置

12月議会で報告できるよう、令和3年度一般会計・特別会計決算内容を審査する。

決算審査特別委員会

委員長 西村 宣之
副委員長 植田 誠司
他、議長及び議会選出
監査委員を除く12名

議会のあり方検討会を設置

令和4年9月15日に、今後の町議会のあり方について検討を行う場として、「議会のあり方検討会」を立ち上げた。

第1回 議会のあり方検討会

9/15

正副座長を決定し、次回開催日において、協議内容を精査し、検討項目を整理していくことを決めた。

座長 大野 直樹
副座長 森 繁樹
その他構成員

鈴木 義明、福家利智子
岡田 芳正、十河 茂広
三好 東曜、大西 哲也

9月定例会（9月9日～15日）

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
綾川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
綾川町過疎地域における町税の特別措置条例の一部改正	〃
物品売買契約の締結（綾川町保育支援システム用タブレット端末等導入事業）	〃
物品売買契約の締結（綾川町消防団小型動力消防ポンプ付積載車更新事業）	〃
令和4年度綾川町一般会計補正予算（第2号）	〃
令和4年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	〃
こども園、学校、公民館等における子どもの健全な育成を求める請願書	一部採択
「農業における生産資材等の高騰及び畜産業の飼料価格の高騰に関する意見書(案)」の採択を求める陳情書	採択
農業における生産資材等の高騰及び畜産業の飼料価格の高騰に関する意見書	原案可決

■付託委員会で賛否が分かれた議案

議案の内容	付託委員会	審議結果
令和4年度綾川町一般会計補正予算（第2号）	総務委員会	承認 (賛4、反1 三好)
こども園、学校、公民館等における子どもの健全な育成を求める請願書	総務委員会	一部採択 (賛4、反1 福家利)

※令和4年度綾川町一般会計補正予算（第2号）の内訳（歳出のうち主な増額補正）

1億5,155万6千円を増額し、総額112億5,406万8千円とした。（千円）

小中学校、こども園、放課後児童クラブPCR検査業務および小中学校抗原検査キット	15,063
自宅療養者等への生活支援物資配付業務	1,155
臨時特別給付金（非課税世帯等対象）	50,970
小中学校給食費補助、こども園給食用材料費	10,900
原油価格高騰対策緊急支援事業（施設園芸農家、自動車運送事業者対象）	24,000
中小企業者等物価高騰等対応資金利子補給事業	2,000
農業経営継続安定化対策事業補助	150
肥料価格高騰対策事業補助	3,340
畜産農家経営継続支援事業補助	5,000

詳細は各委員会ページに記載

請願書を一部採択

こども園、学校、公民館等における子どもの健全な育成を求める請願書（抜粋）

子どもの心身の健康や成長、教育・保育環境を第一に考えて運営を行うこと

1. マスク着用を任意とすること
 - 1) 室内外及び会話の有無に関わらず、マスクの着用は任意であると周知すること。配膳時、調理実習時を除いて教員も児童も他人へのマスク着用を勧めてはいけないことを周知すること。マスク着用非着用者に関わらず差別や偏見から守ること。併せて、フェイスシールド、アクリル板等他人と仕切るものを感染症対策として利用しないこと
2. 子どもに不要な制約を課さないこと
3. 上記1. 2. を実行するために、こども園、学校、公民館等に関わる者がコロナウイルス感染症のリスクの低さを正しく理解するための情報を周知すること
4. 管轄する中讃保健所にも、綾川町は上記に則り、こども園、学校、公民館等の運営を行うこととの理解を得ること

【請願者】 綾川町有志一同 代表 塚田弘樹

【付託委員会】 総務委員会

【審議結果】 上記請願書のうち、1の項目内にある「マスク着用非着用者に関わらず差別や偏見から守ること。」の一部を採択する。

【一部採択日】 令和4年9月15日

意見書を可決

農業における生産資材等の高騰及び畜産業の飼料価格の高騰に関する意見書(抜粋)

新型コロナウイルス感染症による経済への影響、また、世界情勢の悪化に伴う急激な円安の影響により、肥料及び飼料価格の高騰が続いており、農業及び畜産業に携わる農家の経営は極めて厳しい状況に陥っている。

日本の農業及び畜産業を守るためにも、国において、燃料・肥料・飼料等の価格安定のための財政措置を確立することを求める。

よって、以下の事項について要望する。

記

1. 肥料価格のセーフティーネット対策を創設するとともに、安定調達に向けた支援を行うこと。
2. 食料の安定確保に関する消費者の理解を進めるとともに、人件費などの生産コストが上昇しても再生産が可能な価格形成の実現に向けた取組みを行うこと。
3. 小麦など輸入農産物の価格が上昇するなど、食料調達の不透明感が増しており、長期的かつ安定的に消費者に食料を供給するという観点から、国内の農業生産基盤の強化に向けて必要な取組みを講じること。
4. 有機肥料への転換も今後の国策として検討していくこと。
5. 配合飼料価格の高騰が長期化しても畜産経営が継続できるよう、セーフティーネット対策を拡充するとともに、粗飼料の安定調達に向けた支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月15日

香川県綾川町議会

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣

※ PDCAサイクルを活用し、「最小経費で最大効果」が発揮できるよう持続可能な行財政基盤の構築を。



代表監査委員 わたなべ のぶ お 渡邊 宣夫

綾川町一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算審査を実施し、慎重に審査した結果、記載金額は正確であり、予算の執行状況も概ね適正であると認められました。

決算結果

令和3年度一般会計及び特別会計の決算額は、前年度比較、歳入額で26億2831万円（12%）減の192億5232万円余。歳出額で28億5954万円（13・6%）減の181億6778万円余となり、収支共に、前年度を下回った決算額であり、実質収支額は、8億2359万円の黒字決算となっている。

また、自主財源と依存財源の構成割合は37・7%対62・3%で、依存財源においては、主にコロナ対策事業を要因として国庫支出金が減額となったため、自主財源と依存財源を合わせた総額でも前年度を大幅に下回った。

健全化判断比率

「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」及び「将来負担比率」は該当なく、また、「実質公債費比率」においても良好な状態を維持している。

公営企業会計

陶病院の事業収益は、新型コロナウイルス感染症拡大が一時的に落ち着いた時期もあり、入院、外来共に、前年度に比べ増加し、医療収益全体では3・4%の増収となっている。

長引くコロナ禍の影響で発熱外来やワクチン接種等、現場の医療従事者の負担は大きいと思われるが、引き続き、患者のニーズを把握し、医療サービスの充実と提供に努めてほしい。

介護老人保健施設は、前年度に比べ、入所（短期入所含む）及び通所を合わせた全体で、利用者数・収益ともに、大幅な減収となり、4千万円の補填を受けたが、経営赤字の改善には至らなかった。令和4年度からの指定管理者制度における経営では、これまでの理念を継承するとともに、陶病院・えがおと連携しながら、地域密着型施設と



入院・外来患者数ともに増加し、収益全体で増収となった陶病院

特筆事項

令和2年度に引き続き、令和3年度も長期化するコロナ禍の影響で地域での会合や活動が大幅に縮小されている。「新しい生活様式」を取り入れながら、ウィズコロナを見据えた施策、また、高齢化や自治会未加入といった課題にも取り組みながら、地域コミュニティの組織力を高めている。

令和2年度に引き続き、令和3年度も長期化するコロナ禍の影響で地域での会合や活動が大幅に縮小されている。「新しい生活様式」を取り入れながら、ウィズコロナを見据えた施策、また、高齢化や自治会未加入といった課題にも取り組みながら、地域コミュニティの組織力を高めている。

総評

ただきたい。収納対策においては、町税だけではなく、その他の使用料等についても、滞納者に対し、適宜、必要な措置を講じ、公平性と財源確保の観点から更なる収納率の向上を図りたい。

地域の課題が多様化し、社会情勢も大きく変化していく中、将来にわたって安定した行財政運営を維持し、更なる住民福祉の向上と増進に寄与するため、綾川町第2次総合振興計画を柱に、事業のPDCAサイクルを活用し、「有効な費用の活用で最大限の効果が発揮できるよう、持続可能な行財政基盤の構築に向けて、全庁を挙げた積極的な取り組みをお願いする。

※PDCAサイクル
計画↓実行↓評価↓改善を繰り返すことにより、継続的な業務の改善や効率化を図る手法

総務委員会

令和4年度綾川町一般会計
補正予算(第2号)

●総務課関係

一般管理費で職員の人PCR検査を実施する検査委託料を増額補正、財産管理費で表示登記委託料を増額補正。

地方振興費で計上している

た、ことでもん挿頭丘駅エレベーター整備設計業務の業務委託料を減額し、補助金で地域公共交通確保維持改善事業費の綾川町交通サービスインバウンド対応支援事業補助金として増額補正、公共交通バリアフリー化推進補助金を減額、(仮称)バスロケ搭載公共交通サービス水準向上支援事業補助金を増額計上。

災害復旧費で濁水による西分猪尾地区の飲料水確保事業として飲料水の運搬業務委託料、水道企業団への

飲料水負担金、設備交換に係わる費用の補助金を増額補正。

●教育委員会関係

教育総務費で学校感染症

対策検査実施事業負担金として、PCR検査費、学校給食費の材料費値上がりへの保護者負担の補助、コロナ陽性者への給食費返金部分を町費負担とする増額補正。

●学校費

滝宮小学校が県の「学力向上モデル校事業」に指定されたことによる事業費の報償金と消耗品費、抗原検査の消耗品、電気代値上げに伴う光熱水費、PCR検査業務の業務委託料の増額、老朽化した蒸気ボイラの更新事業として給食用備品費の増額補正。

問 PCR検査への補正予算は反対。給食の改善による免疫向上などのコロナ対策を図っては。

答 PCR検査費は体制を

充実させて感染拡大を防止するための補正である。給食の有機食材の利用は今後の検討課題とする。

こども園、学校、公民館等における子どもの健全な育成を求める請願書

紹介議員からの趣旨説明と執行部より現状報告。

意見

既に教育委員会が、厚労省や文科省のガイドラインに沿って取り組んでいる中で、採択には反対。



学力向上モデル校事業に指定された滝宮小学校

・マスクが感染症予防になるという科学的根拠はなく、諸外国を見てもマスクは不要なので採択に賛成。

・国も町もマスクを強制していない中で、マスク非着用による差別や偏見が最大の問題点であるので、その部分に関しては理解できることから一部採択という取り扱いはどうか。

採決

挙手採決により「マスク着用非着用に関わらず、差別や偏見から守ること」の一部採択とする。(請願書は4P参照)

採決

令和3年度綾川町健全化判断比率及び資金不足比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、及び資金不足比率については該当なし。実質公債費比率はマイナス24%であり健全に運営されている。

その他

問 挿頭丘駅のエレベーターの設置・維持管理における費用負担は。

答 関係機関と協議を進めている。

問 実証実験運行の坂出綾川線路線バスの近隣市との連携、利便性の向上は関係者と協議できているのか。

答 通勤通学で利用されているので関係市と連携していきたい。

問 学校給食費補助事業について来年度も物価高騰が継続していた場合、補助は継続されるのか。

答 今年度の補助については、コロナ対策における国の交付金を財源としているが次年度の交付金は不明であり、状況によっては給食費の値上げもあり得る。

問 本庁の老朽化による建て替えの計画は。

答 綾川町個別施設計画において10年間で対応を検討していく。計画については然るべき時期に報告したい。

問 挿頭丘駅のエレベーターの設置・維持管理における費用負担は。

答 関係機関と協議を進めている。

問 実証実験運行の坂出綾川線路線バスの近隣市との連携、利便性の向上は関係者と協議できているのか。

答 通勤通学で利用されているので関係市と連携していきたい。

問 学校給食費補助事業について来年度も物価高騰が継続していた場合、補助は継続されるのか。

答 今年度の補助については、コロナ対策における国の交付金を財源としているが次年度の交付金は不明であり、状況によっては給食費の値上げもあり得る。

厚生委員会

令和4年度綾川町一般会計
補正予算(第2号)

●健康福祉課関係

総務費では、老健あやがわで指定管理施設へ移行した職員に対する現給保障として特例措置交付金を、人員の移行実績により不足分を増額補正。

民生費では、コロナウイルスによる自宅療養者等への生活支援物資配付業務委託料。実績は昨年度が5件、今年度は33件。

老人福祉費では、在宅老人福祉業務の人員不足を補う、会計年度任用職員の雇用に対する費用。

臨時特別給付金費では、令和4年度非課税世帯に対する給付金およびシステム改修費用。

●子育て支援課関係

児童福祉費では、こども園と放課後児童クラブで、

PCR検査キットを使用した検査業務の委託費用、こども園の電気料金及び、物価上昇等に伴う給食用食材の賄材料費の増額補正。

返還金は、令和3年度で実施した「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」と「子育て世帯への臨時特別給付金」の事業費確定に伴う国庫返還金。

●住民生活課関係

衛生費では、原材料と輸入コストの高騰により指定ごみ袋の購入費の増額補正。
し尿処理費では、し尿貯留場処理施設擁壁修繕工事

の区画延長に伴う実施設計及び工事費の増額補正。

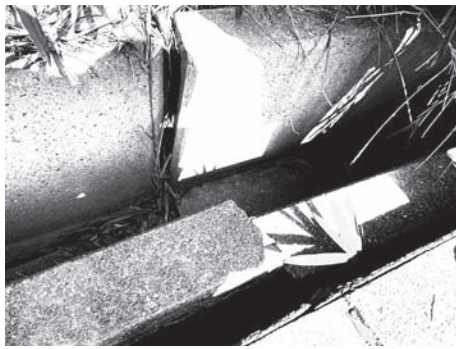
令和4年度 綾川町立羽床
上こども園改修工事

外壁塗装は、全体をベージュ色で仕上げる予定。現在の工事進捗率は15%。

オミクロン株対応ワクチンの接種及び5歳から11歳の小児に対する3回目接種と令和4年度インフルエンザワクチン接種に対する助成

問 コロナワクチンとインフルエンザワクチンは同時に接種できるのか。

答 同時接種が可能である。



修繕工事を行うし尿処理場の擁壁上部水路

問 オミクロン株対応ワクチンは集団接種で行うのか。

答 状況により判断している。

綾川町国民健康保険条例施行規則

新型コロナウイルス感染症に起因する傷病手当金の適用期間を、本年12月31日まで延長するため、一部改正を行う。

ワクチン接種証明

問 全てのコンビニエンスストアで発行できるのか。

答 本町周辺ではセブンイレブンのみである。今後増えていくと思われる。

マイナンバーカードの活用としてコンビニ交付の進捗状況

デジタル推進室と協議をしながら進めており、令和5年2月からの運用を目指す。

その他

問 保健所のコロナ自宅療養者支援物資の対応が遅れるとき、町の支援体制は。

答 陽性者は県が支給、濃厚接触者等には町が支給している。保健所の支給が間に合わなければ、町が代わって支給したこともある。

問 放課後児童クラブでの抗原検査とPCR検査の使用方法は。

答 小学校の長期休業期間などで使用を想定。使用方法は抗原検査は、コロナウイルス感染症の疑いがある場合。PCR検査は、クラス単位での感染が確認された場合や今後、施設全体で感染拡大する状況になる可能性がある場合など、拡大防止の観点から無症状者を対象に検査を予定している。また、検査機関は、(株)四国中検に委託し、翌日の夕方には結果報告を受けられる。また、こども園も同様の方法で実施する。

建設経済委員会

令和4年度綾川町一般会計
補正予算(第2号)

●建設課関係

環境衛生費の合併処理浄化槽設置整備事業として申請件数の増加に伴う増額補正。

●経済課関係

農業振興費、畜産業費では、コロナ禍における原油価格・物価高騰等により影響を受けた農業者に対する支援事業として、「原油価格高騰対策緊急支援事業補助金」、「農業経営継続安定化対策事業補助金」、「肥料価格高騰対策事業補助金」、及び「畜産農家経営継続支援事業補助金」の増額補正。

商工支援費では、同じくコロナ禍における事業者に対する支援事業として、「中小企業者等物価高騰等対応資金利子補給」、「原油価格高騰対策緊急支援事業補助金」

の増額補正。観光費では、柏原溪谷キャンプ村管理運営費の財源振替の補正。

「債務負担行為」

「農業経営継続安定化対策事業補助金」 「肥料価格高騰対策事業補助金」について、年度をまたがる経費支出となり、次年度以降の債務を負担するための補正。

問 肥料価格高騰対策事業補助金について、農協以外の店舗から肥料を購入した場合は領収書が必要か。

答 経費額確定のため、領収書の提出が必要である。

令和4年度綾川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

人事異動に伴う人件費の増額補正である。

「農業における生産資材等の高騰及び畜産業の飼料価格の高騰」に関する意見書(案)の採択を求める陳情書

審議の結果、採択に賛成し、意見書を追加提案することにした。(意見書は4P参照)

その他

道の駅滝宮・綾川町うどん会館の実績報告

問 道の駅の来場者が増えているが駐車場の状況は。

答 指定管理者からは、シヨップ前の駐車場は満車により混雑することがあるが、第二駐車場まで満車で入れないといった状況はないと聞いている。

問 バス専用駐車場に一般車両が駐車しているのを見かけるがその対策は。また、道の駅への案内看板をもっと増やしては。

答 バス専用駐車場対策は、指定管理者に今回の意見を伝える。また、案内看板の設置は、他の機関との調整もあり、今後の検討課題とする。

問 道の駅指定管理者である穴吹エンタープライズとの契約内容は。

答 契約に関する仕様書を提示する。

羽床財産区の廃止

問 他の財産区の状況は。

答 本年12月に財産区議会議員が改選されるため、その後、各財産区と方向性を協議していきたい。

町道の点検及び香川県道路異常通報システムの活用

問 町道の点検はどのようにしているのか。香川県道路異常通報システムの活用は。

答 点検は予防保全のため年4回、地元業者によるパトロールを行っているが、先進地の事例も参考にしながら引き続き効率的で効果的な管理を行っていく。また、通報システムは、早急な導入は考えておらず、国が実施している「道の相談室」 「道路緊急ダイヤル」を活用していただきたい。

小規模道路附属物(カーブミラー・道路標識等)の維持管理

問 カーブミラー・道路標識等の支柱のサビなどが目立つが維持管理は。

答 平成25年度から27年度にかけて総点検を行い、必要な箇所の修繕を行った。年数も経っていることから、次年度以降の計画的な点検を検討していきたい。



道の駅滝宮バス専用駐車場



ふけりちこ
福家利智子 議員

こども園の0歳児、1歳児と持ち帰り用おむつバケツ

こども園「使用済みおむつの持ち帰り」廃止に

実施時期を考えていく

問 もともと布おむつを使っていた時代からの名残で、現在も使用済みおむつを持ち帰っている。布おむつは捨てずに持ち帰って洗ってその中身を見れば、子どもの健康状態もチェックできるとされていた。その慣習が、紙おむつが普及する中でも残っている。使用済みおむつの持ち帰りを廃止することで衛生的であり、保護者や保育士の負担軽減につながる。子育て

応援と働き方改革、感染予防、衛生面などをふまえた本町の考えは。

答 令和2年度から2歳児以上での使用済みおむつは、全こども園で事業系ゴミとして週2回の回収時に処分している。0歳児、1歳児は、使用済みおむつを園児毎に分けて保管し、降園時に保護者が持ち帰っている。

よう、現場の意見を聞きながら、こども園での使用済みおむつの適切な処分方法や現在構築中の保育システムを活用した園児の体管理方法などについて、検討した上で実施時期を考えていく。

問 予算化し、いつから廃止をしていくのか。

答 環境が整えられ次第、実施する。

コロナ後遺症への対応は

最新の情報を周知していく

問 爆発的に感染が広がったオミクロン株による後遺症患者が今後さらに増える可能性がある。新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む人の相談体制、患者が孤立することがないような本町の取り組みは。

答 コロナ後遺症を心配される方からの連絡があった場合、内容を確認した上で、中讃保健福祉事務所やかかりつけ医、又は診断を受けた医療機関等への相談及び受診をお勧めしている状況である。

町としては、従来の相談体制を維持し、後遺症のある方が一人で悩むことのないよう、必要な医療に結び付けられる丁寧な対応を心がけていく。なお町のホームページ等で、国や県の動向等を確認しながら、後遺症についての最新の情報を周知していく。



まつうちこうへい
松内広平 議員



河川内の伐採後も生き茂る雑木



川沿いの賑わいを創出する「かわまちづくり」

「かわまちづくり」計画と清流復活は

計画はないが清流復活の活動を支援していく

問 川をまちの重要な「資源」と考える自治体では「かわまちづくり」で賑わい創出を計画している。

町名の由来でもある清流「綾川」では、河川内の樹木伐採で見通しもよくなり、災害対応できる川幅も広くなった。しかし、現在はまた新たな樹木等が生い茂っている。

①今後の河川整備計画は。
②河川敷を有効活用した「かわまちづくり」の計画は。

③「滝宮公園」に水車小屋があった頃の清流を取り戻していく取り組みは。

答 ①河道整備として、滝宮橋から綾上橋までの約5.8kmのうち、令和元年度より行っている。また、長柄ダム再開発事業は、付替え道路や工事用道路に係る調査や設計が行われている。河川の樹木伐採は、県が令和元年度から2年度に実施した。計画的

な実施の対応を求めている。
②現時点で計画はない。しかし、柏原溪谷のキャンプ村や長柄ダム、田万ダム、滝宮公園、道の駅滝宮などの整備を含め、地域活性化に努める。
③水質検査では基準値をおおむね満たしている。短期間の改善は難しいが、学校などボランティアによる清掃活動や、稚魚の放流などの活動を実施・支援していく。

町営住宅の募集をもっと分かりやすく

要件変更はできないが空室情報は対応していく

問 一般の賃貸物件は、入居申込は先着順で決定する。また、退去通知と同時に募集を開始し、退去後はすぐに室内補修に取り掛かり、一日でも早く住んでもらえる環境を作る。町営住宅は、募集条件が複雑で、入居までに時間がかかる。

①公営住宅と特公賃の申込条件を統一できないか。
②募集方法を随時募集による先着順に変更しては。

③タイムリーな空室情報をホームページで随時更新しては。
④担当課の負担軽減にもつながらる指定管理者制度の導入は。

答 ①所得要件は、法律で定められているため統一できない。住所要件は、県内5市町が要件なし。本町は入居率が97・3%と高いことから廃止はしない。
②公営住宅法において、募集は「公募」、複数申込みは「公正

な方法で選考すること」とあり、先着順では決定できない。
③空室状況や設備状況の確認など、利便性向上のため可能なものから対応していく。
④香川県と高松市のみ導入。経費などの面から、戸数の少ない自治体は導入が難しい。行政判断が必要な業務は委託が認められていないが、引き続き検討を行っていく。



いのう え ひろ みち 井上博道 議員

町政の報道機関等への対応の在り方は

報道、議会、関係者には適切に対応する

住み続けたいあやがわ 安心、快適なまちへ

綾川町の前身町長が再選され、2期目の町政運営をスタートして約1ヵ月、町長から転身して1期、4年間で住んでみたい「住みよかつた町」のイメージをスローに、コロナ下厳しい環境の中でさまざまな施策を打ち出してきてきた。2期も住み続けたい町を自ら目指して、1期で済ませた理想を、さらに新たな活性化策を講じていこうとしている。町長は「住みよかつた町」という目標を掲げ、目指す町の姿をしっかりと示す。

マスコミへの対応は慎重に

今年4月、国が進めるデータセンターの候補地に、四国で唯一、綾川町千疋地区が選ばれました。今後、話し合いを進めてぜひ実現させたいと思います。綾川町には企業を誘致できる未利用地がいくつもあり、「災害の影響を受けにくい」「防災拠点空港となる高松空港が近

より透明な町政運営を

マスコミへの対応は慎重に より透明な町政運営を

問 議会への説明が不十分であるかのように報道された事案が過去に何件もあった。本件データセンター案件の、議会全体への事前説明をどのように考えているのか。極一部の議員しか知らないのでは、議会全体への説明にはならない。町民や関係者が誤解しないように、慎重な報道対応が今後にも必要になると思っています。

医療・教育・農業等のあらゆる分野で、データを収集して処理するデータセンターの重要性が高まっている。本年6月26日付の四国新聞には、「データセンター候補地に本町千疋地区が選ばれた」旨の町長発言が書かれている。本件データセンター案件を例に上げて、町政の報道機関、本町議会等への対応の在り方についての基本的な考え方や、在り方を問う。

問 経済産業省との意見交換会への参加は、いつ、国又は県へ申請（意思表示）したのか。本町単独で情報を入手して、候補地への名乗りを上げたのか。本県の担当部局（商工労働部）とは緊密に連携しているのか。

今回のデータセンターの件は、経済産業省のホームページに掲載されたもので千疋地区が掲載されたものもあり、議会へは、しかるべき時期に報告したい。ある程度詳細が詰まるまで、説明は控える。マスコミは、我々の話の中から表題を選んで付ける。読者に対する一つのアピールと考えての取組みではないかと思う。

答 要望活動については、今後の町政運営、施策の充実強化につながるものと考えている。公益性、必要性、重要性を考え、効果的な時期に公務として実施している。内容、誰に会ったかまでの詳細を言うことは控える。

具体的な計画ができたから、地権者への説明をしたいと考えている。本年6月6日、町長は首相官邸に出向いたのではないかと噂も聞かれました。何方と、どこへ、何を要望したのか。本件データセンターのことも含むのか。税金を遣った公務であるからには、公表の義務がある。



おだいくお
小田郁生 議員



綾南農村環境改善センター
入口スロープ



本庁正面玄関スロープ

町広報誌のよりよい配布方法は

職員の宅配持参を継続する

問 広報誌は、自治会経由が郵便で配布しているが、自治会経由での世帯数と郵便での世帯数は。

答 8月の配布実績で、全自治会経由での配布は5708世帯、自治会未加入世帯への郵送は2523世帯。自治会への配達については、全379自治会中、職員の配布が364自治会、郵送は15自治会である。

問 郵便配布の場合、宛所印刷はどこで、どのタイミングでしているのか。毎月、宛先不明で返還される郵便通数は。

答 住民票の異動や自治会未加入者からの郵送不要連絡を集約したうえで、総務課広報担当が、毎月10日を日頃に宛先印刷を実施し、25日頃に発送している。宛先不明で返還される通数は、変動はあるが、おおよそ5通ほどである。

問 郵便局の宅配での自治会配布をできるだけなくして、職員が持参する方法としてはどうか。持参することで、住民の生活環境や要望が理解でき、いち早く行政サービスに生かせるのでは。

答 現在、職員配布の自治会は364自治会で、これは全自治会の約96%である。訪問の際、問い合わせや要望を伺うこともある。今後も職員の宅配持参を継続し、住民とコミュニケーションが取れるよう努める。

問 紙面配布にこだわらず、インターネット環境を利用した方法も検討を。

答 広報誌はまず皆様の目に止まり、見て頂けることが大切と考えている。綾川町ホームページやFacebook、Instagram、TwitterなどのSNSも有効的に利用し、住民のニーズに対応できるよう努める。

庁舎入口のスロープの改善を

本庁玄関から円滑に行けるよう段差解消を検討

問 綾南農村環境改善センター側にある入り口180度折り返しスロープを、電動式車いすで利用していた方が、折り返しの所で身動きができなくなっていた。安心して利

用できる設備にしてください。

答 平成6年建築当時の基準に基づき整備されたもので、近年の大型の「電動車いす」や「シニアカー」での通行

は難しい状況である。スペース等の関係で直近の改修が難しいため、まずは、本庁玄関から円滑に環境改善センターに行けるように、段差解消を検討する。



コロナ禍におけるオンライン研修



おの なお き
大野直樹 議員

防災教育の取り組みは

ケースごとに全体・個別の指導を考え推進していく

本町の小中学校における防災教育について

問 指導計画が作成されていると思うがアップデートはされているのか。

答 各学年度当初に作成する教育計画の中で毎年見直しを行っている。火災、地震、不審者を想定した避難訓練を各学期で計9回実施している。

問 支援が必要な生徒がいる場合の特別な防災教育や避難訓練はどのように行っているのか。

答 訓練時に教員や生活支援員が寄り添い実施。

ウェルビーイングにつながる会議の開催を

感染対策に配慮し開催できるよう努める

今後のイベントの在り方について

問 イベントのゴミの問題なども、改める必要があるのでは。

答 今回の「綾バル」では、出店者側が考え、ゴミの減量化や環境負荷の少ない容器の利用、飲み物をジョッキで提供するなど、ゴミ削減の取り組みが見受けられた。今後のイベント開催においては、ゴミの減量化に向けての対策も、検討していく。

綾川町中小企業等振興基本条例を先に進めるための会議について

問 ウェルビーイングサイトイー構想につながる会議をどのように進めていくのか。

答 企業者が住みよい地域社会の実現に貢献できるよう、商工会とも連携を図り推進していく。会議は感染対策に配慮しながら開催できるよう努める。

綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

問 今後の綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略においてもウェルビーイングの考え方やKPI（重要業績評価指標）を取り入れては

答 ウェルビーイングの視点は、町民の暮らしやすさや幸福感を数値化・可視化していくことで今後のまちづくりにおいても非常に重要な指標であると認識している。採用する指標やその分析方法などの導入は今後の研究課題とする。

※ウェルビーイング
個人の権利や自己実現が保障され、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念



そごうしげひろ
十河茂広 議員



地域活性化が期待される旧綾上中学校



備えて安心防災トイレ

避難所におけるトイレの備えは

配備できていない避難所への整備を検討する

今後必ず起きると言われている南海トラフ巨大地震に備える必要が急務である。避難所トイレの備えについて本町の状況を問う。

問 災害備蓄品の中の防災用トイレの整備、確保状況は。

答 携帯トイレを本庁舎及び支所、各公民館に各200回分を備蓄している。昨年度、各小学校及び旧小学校、B&G海洋センターに各1500回分を備蓄した。綾川中学校等、まだ携帯トイレを配

備していない避難所の整備は、今後検討する。支所及び各公民館には新型コロナウイルス感染症対策にも配慮して、フィルムの熱圧着により汚物を完全密閉できるトイレを2台ずつ配備。B&G海洋センターにはマンホールトイレを5基整備している。

問 本年度の避難、防災訓練はいつ、内容は。

答 地区別防災訓練を、11月下旬に予定している。内容は、避難所の運営訓練である。長期の避難を想定して、

避難者が主体となって避難所運営をするために必要な役割を分担して、情報の取得・管理・共有、食料などの物資管理、衛生管理などの業務体験である。

問 町内企業と地域防災協定を結んでいるところはあるのか。

答 インフラ等の復旧や医療の提供、要援護高齢者避難の受入、災害廃棄物の処理、物資の調達など町外も含めた多数の民間事業者と防協定を締結している。

廃校になった旧綾上中学校校舎の今後は

地域活性化が図れるように取り組む

問 現在の旧綾上中学校の維持管理費は。

答 409万2千円を計上している。

問 校舎の活用について企業、団体からのアプローチは。

企業3社から問い合わせを受けている。今後計画の提案を受ける予定である。7月に綾上地区の自治会長及び公民館運営協議会委員を対象に開催した意見交換会では、「企業誘致」「雇用創出」

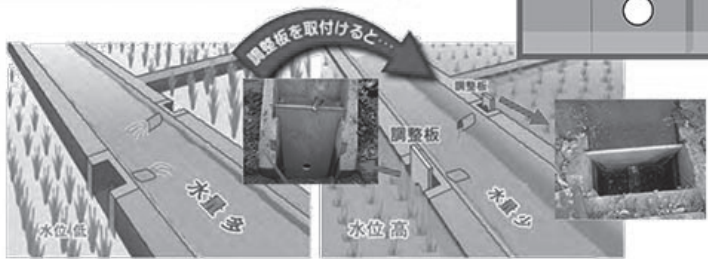
答 企業3社から問い合わせを受けている。今後計画の提案を受ける予定である。7月に綾上地区の自治会長及び公民館運営協議会委員を対象に開催した意見交換会では、「企業誘致」「雇用創出」

「住民の交流の場づくり」などの意見があった。民間活用に向けた誘致戦略を展開していく中で、活用事業者と地域住民との連携・交流による地域活性化が図れるよう取り組む。



おお にし てつ や
大西 哲也 議員

田んぼダムとは
田んぼの排水口に排水管より小さな穴の開いた調整板を設置し、水の流出を抑制することでダム役割を果たす田んぼのことです。
多くの田んぼで取り組むことで、大雨の時に水田内に水を貯留させ下流域の洪水を軽減させる効果があります。



治水に効果が期待される田んぼダム

気象変動による町内の治水と安全管理は

官民一体となった「流域治水」の実現に努める

問 気象変動の影響により水災の激甚化と頻発化により防災の観点からも「治水」という概念が注視されており、災害の芽を先に摘んでおく必要がある。

- ① 道路排水溝の維持管理は。
- ② 道路に張り出した樹木伐採は。
- ③ 農地の治水は。

答 ①年4回のパトロールを実施しており、昨年

度は327件（内74件は排水施設）の報告があり、順次改善した。

- ② 自治会長会等を通じて適正な管理をお願いしている。町の助成は考えていないが今後とも土地所有者への啓発を行う。
- ③ ため池の貯水量調査を実施しており、異常があれば連絡を取る体制がある。今後も田んぼダムの推進や農業水利施設の点検に努める。

問 パトロールの点検マニュアルは。

答 規定のチェックシートはないが、仕様書に点検箇所を明記しており、統一した報告様式を使用している。地域の状況に詳しい地元業者に委託することで効率的な対応を心掛けている。

保育士の労働環境の更なる改善を

長く勤められる職場環境を作っていく

問 「てい先生」といった現役保育士がメディアに取り上げられるなど保育士としての職業がさらに注目されると同時に労働環境の改善も引き続き注視されている。

- ① 町としてどのように取り組むのか。
- ② 現場の意見が通りやすい意見箱の設置は。
- ③ 改善の指標として離職率の可視化は。

答 ①会計年度任用職員は月額約9千円の給与引き上げとなっており、今後も継続する。

- ② 各園の代表者と子育て支援課職員とで職場改善検討委員会を年4回行っており、意見交換により使い捨ておしぼりの導入等、業務の効率化に繋がった。
- ③ 保育の質を高めるためにも、保育士が長く勤められる環境

問 正規職員と臨時職員との比率と他市町村との比較は。

答 綾川町 正規約30%
臨時約70%
県内他市町村 正規約40%～50%
臨時約50%～60%
綾川町は正規率が少し低いが、正規職員の退職に伴う補充は正規職員で対応している。



もり森 しげき 繁樹 議員



レース序盤を集団走行する男子選手



優勝を争い最後の力を振り絞る女子選手

インターハイロードレースのレガシーをどう活かしているか

一過性の大会に終わらせないよう競技・観光ともに検討しよう

アマチュアレースや高校生
の大会の誘致

先月、インターハイ自転車ロードレースが本町で開催された。

問 このまたとないチャンスであったロードレースをレガシーとしてどのように活かしていくか。アマチュアレースや、サイクルイベント、高校生の大会の誘致など幅広く検討を求める。

答 全国高校総合体育大会自転車ロードレースは、男女合わせて186名の選手が参加。地元住民のご理解・ご協力のもと、国道・県道・町道をコースとした一周21.2kmを車両全面通行止めとした。また、競技役員102名、運営役員61名、立哨ボランティア174人、補助員36名、計373名の関係者のご協力があり無事終了した。今大会にて、自転車ロードレー

ス競技を開催したことで競技に対する住民の理解が十分に深まったとは考えてはいないが、参加者の方から本町における環境・コースは、現在の日本のレースでは「まずない素晴らしいコースである」と絶賛する意見も聞いている。

今後は、ロードレース競技を行う上での諸問題、今大会での反省点や改善点などを踏まえた上で検討していく。

観光の観点から充実させるために

問 イベントやレースの誘致がうまくいけば合宿も行われるなど、宿泊施設の充実が必要と考えるが、廃校になった学校や施設、または空き家の活用につなげていくことも視野としてどうか。

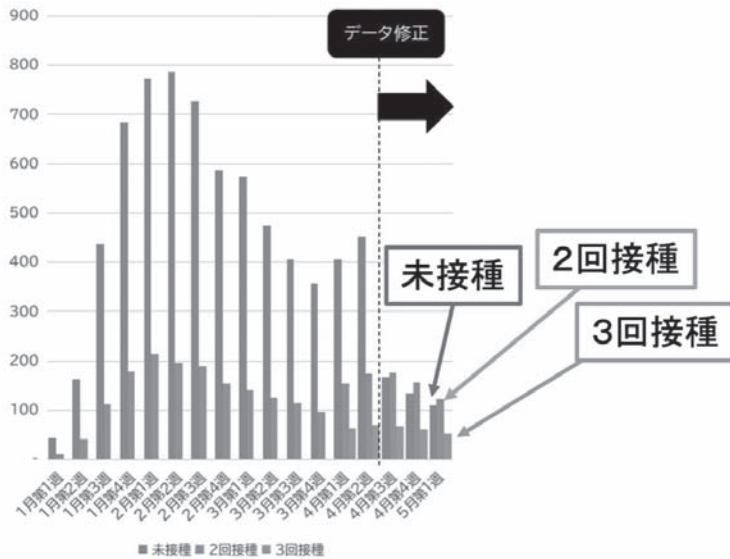
答 今回の使用されたコースについても、観光資

源の一つであり、全国高校総体のロードレース競技を一過性の大会に終わらせないよう地域活性化の観点から活用していくことが重要と考える。

今回のコースを活かして、サイクリスト達を町内に呼び込み、観光を伴う消費を促進できるような取り組みを行いたいと考えており、今年度、町の観光協会においてインターハイのコースも含め、町内の観光を楽しめる情報を掲載したロードマップを作成する予定。宿泊施設については、今後の研究課題とする。

※レガシー（社会遺産）
社会遺産として未来へ引き継いでいくもの。ここでは大会を通じて整備・構築されたインターハイロードレースコースや開催実績。

10万人あたり陽性者数(40-64歳)



み よ し と う よ う
三好東曜 議員

打っても打たなくても変わらない陽性率。厚労省再集計で判明
出典：第83回(令和4年5月11日)新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード

マスク着用ガイドライン見直しを

マスクは間違いなく強制ではない

問 マスク着用は間違いなく強制ではないか。

答 間違いなく強制ではない。

問 厚生労働省はマスクが感染予防効果があるという根拠になる論文や資料などは持ち合わせていないのを知っているか。国に問い合わせた上で回答を。

答 国には問い合わせしていないが、厚生省のホームページのとおり根拠になる論文等はある。

論文等はある。

問 マスク着用により表情によるコミュニケーションが困難になっている。欧米諸国ではもうマスクによる感染症対策を行っていない。風邪と同様の症状がある人だけマスクを着用するという対応が望ましいのでは。マスク着用義務の撤廃を子どもたちや行政職員からしてはどうか。

答 文献に基づく国のガイドラインによりマスクの着用を推奨する。

の着脱を推奨する。

問 (見解の相違があった質問) 地方自治体から厚生労働省に向けて「マスク着用のガイドライン見直しの要望」をあげる事は可能か。また、その条件は。

答 要望があっても国が示したガイドラインがあり、国の方針を十分に吟味した上での判断になる。

新型コロナウイルスワクチン接種推進の見直しを

全世代の対象者に接種の推進を継続して行う

問 ワクチンのブースター接種は長期の免疫を下げるリスクが大きすぎ、直ちに中止すべきだ。血管・臓器損傷は反論の余地がなく、心筋炎も100倍に増え、不妊になる可能性も。接種推進の見直しを。

答 町はワクチン接種によるメリットがリスクを上回るという結論の元、全世代の対象者に接種の推進を継続して行う。

問 日本だけが今も接種を推進し、打てば打つほど感染が広まり、世界一のコロナ陽性大国になった。ワクチン接種者が未接種者より多く感染するという逆転現象が起きている。重症化を防ぐ根拠も乏しいのになぜ推進を。

答 重症化を防ぐため推進する。

問 2022年5月11日の英国の公式統計ではワクチン接種した14歳以下の子ども死亡率は未接種者の50倍に達する。治験中で安全性がわからず、しかも遅れのワクチン接種を推進するのはなぜか。

答 メリットがデメリットを上回ると国が示しており、法律に基づき進めている。

町議会を傍聴して



9月定例会の傍聴風景(9月9日)



粉所地区

木室 実久さん

私は8月中旬から綾川町で議員インターシ

ップを行っていることがきっかけとなり、一般質問の傍聴をいたしました。議員インターシップでは議員さんがどのような活動を行っているのかを学んでいるのですが、今回もその一環として議員さんの行っている重要な活動をぜひ拝見したいと思い参加しました。

私は綾川町に住んでいますが、議会を傍聴するのは今回が初めての経験でした。そのため、綾川町をより良くしようという活動をしてくださっている方々の姿を、議会傍聴の場で見ることができたのは本当に良い経験であったと感じています。

また、一般質問の中で自分が考えたことのない視点での質問が多々あり、様々な視点で物事を見ることの大切さに気付きました。

今回、議会傍聴に参加して感じたことを忘れずに、自分も綾川町の住民の一人として綾川町をより良くしていくためにはどうすれば良いかを考えたいです。

いよいよ開催！

かがわ・山なみ芸術祭 2022 AYAGAWA

10月22日(土)～11月13日(日)〈開場10:00～閉場16:00〉



山なみ芸術祭お迎え旗作り



町田紗記さん作品「山が生きている山に生きている」(西分公民館)

倉石 文雄

「かがわ・山なみ芸術祭」は、アーティストと住民が芸術祭を共同で企画運営し、様々な地域の特徴とアーティストの独創性を有機的に融合させ、新たな地域文化の創造を試みることで、アーティストと地域の活性化につなげることを目的としています。

第5回となる今回の芸術祭は、綾上地区の公民館の協力を得て、参加作家さん主導によるワークショップを発売に開催、展示会場も大幅に拡大いたしました。また、商店の協力を得て、綾川町商店山なみチャレンジを考案、スタンプリーを行います。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ不透明であることから、ご来場の皆様には、感染予防をお願いすることはいままでもありませんが、これらの状況を踏まえたWEB環境での展開もさらに充実しております。皆様の多数のご来場をお待ちしております。

編集後記

「和をもつて貴しとなす」

今より約1400年前、聖徳太子が17条の憲法の中で定めた最初の文章です。

人々が話し合つて物事を決めるのが大切で、広く世の中で会議を行い、合意のもと治める事とも書かれています。これが日本における議会の始まりです。

これまでも、中央集権の体制をしき、議会制民主主義を採用し、私たちの話し合いの歴史は進化し続けてきました。

住民の代弁者である私たち議員の責務は住民、行政、両方の意見を先入観なく聞き、議論することにより、より良い答えを導き出し、町を発展させていく事です。

どのような議論を行ったかを住民に説明する資料がこの「議会だより」です。そして、今求められているのはデジタル技術を使った進化です。

より住民にわかりやすく、より便利に進化させていきたいと思えます。

(文責 三好 東曜)

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 松内 広平 |
| 副委員長 | 三好 東曜 |
| 委員 | 大西 哲也 |
| 委員 | 森 繁樹 |
| 委員 | 小田 郁生 |
| 委員 | 十河 茂広 |
| 委員 | 安藤 利光 |